

令和7年度 高志高等学校 学校関係者評価書

(問)

- ・アンケートの分析、学校の自己評価が適切であったか。
- ・成果と課題を踏まえた今後の改善策・向上策が適切か。

(意見を聞いた方) PTA役員 5 名

○自ら学ぶ生徒を育てる

・探究活動や課題研究が充実しており、生徒が主体的にテーマを設定し、深く学ぶ姿勢が育まれている。発表の機会も多く、その成果が校外へも発信されるなど、学びが社会とつながっている点を高く評価したい。
・ほとんどの項目で数値が上昇しており、客観的データとしてもその成果が裏付けられていると感じた。特にSSH、SGHネットワークの取組をはじめとするコンテスト等への参加など、学外への取組が成果を出し、それらが高く評価されている結果だと思う。学校の自己評価も適切であると考えている。
・子どもを見ていると、こちらから言わなくても学習するようになっており、生徒が自ら課題を見つけて学びを進められていると感じている。

○自ら考え責任を持って行動する生徒を育てる

・学校行事や委員会活動において生徒の主体的な運営が見られ、自ら考え行動する力が着実に育っていると感じる。日々の学校生活の中でも、自律と責任を重んじる校風が根付いている。
・目標指数A+Bの合計80%以上については、目標設定をもう少し引き上げてほしいのではないか。

○生徒の夢・希望の実現を支援する

・進路指導がきめ細かく、一人ひとりの目標に応じた支援が行われている。面談や情報提供も充実しており、生徒が安心して将来を描ける環境が整っている。
・生徒の目標指数A+Bの合計が80%以上となっているが、進路目標の設定が高すぎるのではないかと感じる。

○豊かな情操の涵養

・図書の広報誌や掲示物の利用が低い理由は何か。図書館を利用する生徒が少ない、もしくは限定されているのか。図書館だより等の掲示物利用割合の減少が顕著であることから、電子化してはどうか。
・図書館に足を運びたくなるイベント等の工夫についてよい取組であると感じた。
・文化活動やボランティア活動が活発で、思いやりや感性を育む機会が豊富に用意されている。学習面だけでなく人間的成長を大切にしている姿勢が感じられる。

○安心して学べる環境

・学習環境は整っており、問題ないと思う。
・校内の雰囲気落ち着いており、教職員と生徒の信頼関係も良好である。相談体制も整っており、生徒が安心して学校生活を送ることができる環境が確保されている。

○ICT活用の促進

・教職員、生徒ともに十分活用されていると思う。
・授業や課題においてICT機器が効果的に活用されており、学習の幅が広がっている。オンライン教材や共有ツールの活用により、生徒の理解度向上につながっている。

○働き方改革

・教職員の休暇取得増をお願いしたい。
・教職員の業務効率化が図られ、教育活動の質を高めるための取組が進められている。無理のない体制づくりが、生徒への丁寧な指導にもつながっていると感じる。
・働き方改革への取組は重要であると思う。一方で、それらを名目にした過度な管理体制は、逆に教員の負担増になるケースもあると考える。時間管理等の表面的な部分だけでなく、「教育のしやすさ(働きやすさ)」という点での評価につながると、教育の質に寄与するのではないかと期待している。

○総合

・学校評価を真摯に受け止め、具体的な改善策を示している点は非常に評価できる。成果を大切にしながら課題にも着実に向き合う姿勢が、今後のさらなる発展につながると期待している。

(学校関係者評価を踏まえた今後について)

・中高一貫校としての効果的な取組について、SSH等のこれまでの実績を生かし、今後も改善していく。特に、生徒の探究力や課題解決能力を高めるために意欲的にチャレンジできる取組を引き続き充実させていく。
・生徒の主体的に取り組む姿勢、リーダーとしての資質の育成に努める。そのために自ら課題を設定し解決する力を育てる取組を充実させ、より一層充実した指導を企図していく。
・自らの進路実現のため、生徒が自主的に目標を定め、行動する姿勢が重要であり、そのための支援や情報の提供に努める。進路指導を、PTA・保護者と連携しながら一層充実させる。
・学校生活がより充実したものとなるよう、面談やアンケートを実施し、生徒の悩みや不安などの早期発見・早期対応に努めるとともに、自尊感情、自己有用感の醸成に努める。
・学校からの情報発信に学校ホームページやGoogle Classroomを活用するとともに、保護者への連絡文書のデジタル化やアンケートの電子処理化等の情報機器の活用を進め、発信側・受信側双方の利便性の向上に取り組む。
・図書の貸出冊数や来館状況をみると、多くの生徒が学校図書館を利用している。生徒に向けて、より利用のしやすい学校図書館の環境整備や、図書館だよりの発信方法について検討していく。
・今後ともPTAとの連携を密にとりながら、学校運営をすすめていく。
・各項目の目標指数については、より実態に即した適切な指数になるよう、今後検討していく。